

新人教育体制とその課題

ープリセプティの立場からー

公益財団法人 星総合病院 放射線科 ○加藤 萌香(Kato Moeka)

【はじめに】

新人教育は病院にとっても新人にとっても大変重要です。当院の新人教育体制ではプリセプター、上司、モダリティ担当者、法人など様々な方面からのサポート体制があります。プリセプターだけでなく、放射線科及び法人全体で新人教育を行っています。今回は当院の新人教育体制についてプリセプティの立場から報告します。

【当院の概要】

公益財団法人星総合病院は福島県郡山市にあり、病床数は430症で、32科を標榜する総合病院です。2次救急指定病院を担っています。導入機器は、一般撮影装置3台、乳房撮影装置2台、骨密度測定装置1台、移動型X線撮影装置3台、外科用イメージ3台、X線TV装置2台、X線CT装置3台、MRI装置1台、核医学装置1台、血管撮影装置（Hybrid含む）3台、歯科撮影装置1台、ESWL装置1台です。系列病院に星ヶ丘病院、三春町立三春病院、たむら市民病院、ほし横塚クリニックとあり、診療放射線技師41名で業務を行っています。

【当院の新人教育体制の取り組み】

当院における新人教育体制について

- 1.プリセプター制度
 - 2.HODAS
 - 3.目標管理カード及び面談
- 上記について報告します。

1.プリセプター制度

厚生労働省の新人看護職員ガイドラインによると、プリセプター制度とは新人看護職員1人に対して決められた経験のある先輩看護職員（プリセプター）がマンツーマン（同じ勤務を一緒に行う）で、ある一定期間新人研修を担当する方法¹⁾と明記されています。当院の放射線科のプリセプター制度はガイドラインとは少し異なり、マンツーマンでの指導は行いません。同じ検査を担当になった先輩技師が新人に指導を行っています。プリセプターはマンツーマンでの指導は行いませんが、日々の業務サポート、研修中モダリティ

の進捗状況の確認、メンタル面のサポート、研究発表の補助、指導を行います。3～6年目の先輩技師が新人につき、1年間サポートしてもらいます。

2.HODAS

HODASはHOSHI GENERAL HOSPITAL Overall Development Ability Systemの略で、星総合病院の職員として期待する基本的能力と専門的知識を修得し、医療人として期待される人材を育成することを目的に作成されました。職員1人ひとりのもつ資質・性格・特性などをふまえ、組織の望む職務遂行能力と人間性・社会性を向上させることを目指すものとあります。法人職員としての共通した評価項目と、部署ごとに細分化された評価項目で構成されています。

HODASの評価表はモダリティごとにあります。Fig.1にHODASのCTの評価表を示します。HODASの目的としては、必要な知識・技術を習得出来たかの確認に使用します。HODASを行う時期は半年、1年で2年目以降は予定研修期間終了時に評価します。評価はモダリティ担当者が行い、1年目のみプリセプターも確認します。項目毎に評価を行い、出来るだと2、出来ないだと1、未経験だと0で新人、指導者それぞれ記入します。HODASの評価を行うことで、研修を継続させるか終了させるかの判断が出来ます。また研修の進捗や理解度を把握でき、出来ないと判断された項目を重点的に指導できます。

3.目標管理カード及び面談

目標管理カードにより1年間の目標の設定ができ、目標管理カードを用いて面談を行う事で、面談者と1年間の目標の共有、進捗の確認、相談ができます。目標管理カードを書き、面談する時期は4月、10月、3月であり、4月は1年間の目標設定、10月は進捗の確認、3月は1年間の評価を行います。面談は面談者（管理監督者）が行い、1年目のみ目標管理カードをプリセプターも確認します。目標管理カードには個人目標、行動目標を書く欄があります。個人目標には

中項目	小項目	到達年数				備考
		半年	1年	3年	5年	
6.CT						
GTレベル1						
①頭部、顔部、腹部、骨格部、上肢、下肢の単純撮影 ②検査説明、画像出力						
	1.装置の操作ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2.患者情報の登録ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3.画像の送信ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4.CTの基本原理を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	5.基本的なCT画像の正常解剖を理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	6.撮影を実施し、簡単な撮影ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	7.撮影した画像に対し適切なWW、WLの設定ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	8.ルーチンプロトコルに沿って適切な撮影条件の設定ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	7.救急患者の撮影ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	8.検査説明ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
GTレベル2						
①精密検査のためのターゲット、ズーム撮影 ②肺野、副鼻腔、眼窩撮影 ③喉頭、甲状腺撮影 ④脊椎、腎臓撮影 ⑤頭部、胸腹部、骨盤部、股関節、股関節、股関節、股関節、股関節の造影撮影 ⑥システム障害時の対応						
	1.解剖を理解し、撮影条件設定ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2.適切な撮影FOVでの撮影条件設定が行える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3.検査目的に合わせた画像(MPR、CPR、3D等)を作成できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4.検査目的に合わせた画像の再構成関数の使い分けができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	5.造影剤使用の検査を実施できる。(1相造影、Dynamic撮影)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	6.造影剤使用検査時の患者の副作用発生に対応できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	7.ルーチンプロトコルの設定条件を変更し応用設定することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	8.システム障害時の対応ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
GTレベル3						
①検査ごとのプログラムに従った撮影 ②撮影後の解析						
	1.冠動脈3DCTA、シャント3DCTAを除く3DCTAの撮影ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2.TDの作成ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3.検査目的に合わせてTestInjection法とBoulusTracking法の使い分けができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4.病巣を読み取ることができ病巣に合わせたスライスの作成ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	5.冠動脈3DCTA、シャント3DCTAを除く3DCTA画像の作成と解析ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
GTレベル4						
①冠動脈3DCTA ②大腸CT ③シャント3DCTA ④デュアルエネルギーCT ⑤CT透視下生検 ⑥検査プロトコルの作成						
	1.冠動脈3DCTA撮影法を理解し実施できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2.冠動脈3DCTA撮影時、患者の状態にあわせて最適プロトコルの選択ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3.冠動脈3DCTAにおいて最適位相画像の作成ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4.冠動脈3DCTAの画像作成と解析ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	5.大腸CT検査の内容を理解し、適切なガス注入と撮影を実施できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	6.大腸CTの画像作成と解析ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	7.大腸CT検査前処置について患者の状態にあわせて設定ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	8.シャント3DCTA撮影の内容を理解し、適切な撮影タイミングの設定を行い撮影ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	9.シャント3DCTAの画像作成と解析ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	10.デュアルエネルギーCTについての基本原則を理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	11.デュアルエネルギーCTの画像解析ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	12.生検に適したポジショニングができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	13.CT透視下生検の補助ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	14.各CT装置においてプロトコルの作成ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

【評価基準】2—出来る(理解できた) 1—出来ない(理解不足) 0—未経験 ○黒…新人△赤…指導者

Fig.1 HODAS

1年間の目標を書きます。行動目標には個人目標にむけての具体的な目標設定を行います。下の段には資格取得や院外活動の目標を設定します。9月に進捗状況の評価、3月に達成状況の評価を行います。年度末に1年間を振り返り自己評価を行い、次年度への課題を記入します。下欄については4月、10月、3月に面談者が面談後にコメントを書きます。

【プリセプティとして感じた事】

- 新人の時は疑問点があった時に、誰に聞いたらいいかわからない事がありましたが、プリセプターに相談することで安心して聞くことができました。また研修の進捗状況や悩みがないかなど、気にかけてくれることで疎外感を感じずにいられました。
- 研修期間中、ひとり立ちに対する不安がありました。しかし、モダリティ担当者がひとりで出来るかと判断してから研修卒業となり、またHODASを活用し評価を受けられるので安心して研修を終了できました。

令和5年度 目標管理カード

所属部長

所属	院部	部署	部	科・課・病棟
氏名	職階()	職種	役職	
部門・部署	今年度のkey word 「主体的、自発的、ユーザー視点」			
目標				

【自己目標】部門目標を達成するために、各自が取り組む課題(資格取得や院外活動を含む)

個人目標	行動計画	進捗状況(9月まで)	達成状況(3月まで)
		※5段階で自己評価すること	※5段階で自己評価すること
①	①	5・4・3・2・1	5・4・3・2・1
②	②		
③ (情報管理/院内活動)	③ (情報管理/院内活動)		

【今年度の志 1文字】 [～でありたい][～になりたい]など 志や願い、想いを込めた1文字

その理由(.....)

所属長から一言 (.....)

【次年度への課題】令和5年度における振り返り、次年度への課題を記入

令和5年度における自己評価	次年度への課題
新卒正未 5・4・3・2・1	
業務改善 5・4・3・2・1	
協働性 5・4・3・2・1	
積極性 5・4・3・2・1	
責任感 5・4・3・2・1	

評価基準(5段階評価)

5 できた 4 ややできた

3 半分できた

2 あまりできなかった

1 全くできなかった

4月	10月	3月
所属長 印	所属長 印	所属長 印

Fig.2 目標管理カード

- 当院はプリセプターとマンツーマンではないので、教えてくれる担当者が変わり、指導が人によって違う事に悩みを感じていました。
- 入職してすぐの頃、相談したい事がある時に、プリセプターに聞いても大丈夫か不安になった時がありました。この経験をふまえて、自分がプリセプターの際は聞きやすい雰囲気づくり、具体的にはプリセプターから声をかけることで話しやすい雰囲気をつくるようにしていました。

【おわりに】

当院の新人教育体制についてプリセプティの立場から報告しました。プリセプター、上司、モダリティ担当者、法人など様々な方面からのサポート体制が存在するものの課題もあります。プリセプティとして感じた経験を生かし情報を共有する事で新人教育の向上に繋がってほしいです。

【参考文献】

- 1) 新人看護職員研修ガイドライン改訂版、2014